

令和7年
1月発行

水産にいがた

発行所
新潟市中央区万代島2番1号
新潟県漁業協同組合連合会
発行人 寺尾和弥
www.van-rai.net/nigyoren/
※会員の購読料は指導事業
経費より支払いされてい
ます。



冬の風物詩 新潟漁協山北支所の塩引鮭

主たる目次

年頭のご挨拶	2
令和7年度県水産予算に対する要望事項	5
祝 漁協運動功労者表彰・系統団体職員紹介	6
「JF全国代表者集会開催」	7
2025年～2029年 JF運動方針の骨子（3つの柱）	8
系統団体掲示板（漁協監事研修会他）	9
【2024年の大型クラゲ来遊状況について】	16
令和6年度「越後本ズワイ」について	17
水揚情報／地区別魚種ランキング6月～11月	18
漁船情報	19
普及指導員現地情報	20
新潟海上保安部よりお知らせ	22
税関から漁業関係者の皆様へのお願い	23

年頭のぞ 挨拶

新潟県漁業協同組合連合会
代表理事 会長

寺 尾 和 弥



新年あけましておめでとうございます。
令和七年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会の事業推進に際し、格別なるご理解とご協力を賜り、ここに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、年明けの一月一日に発生した「令和六年能登半島地震」の影響は著しく、上越及び佐渡地区を中心に津波による漁船や漁具の流出、漁場の変化、施設損傷等被害が多く確認されました。今も復旧という観点では施設関連のみ進展してい

る状況であります。

また、ロシアによるウクライナへの本格的軍事侵攻から二年が経過するも未だ終わりが見えない中での中東情勢の悪化等、世界の地政学的リスク等により、円安は進み、輸入原料の高騰に拍車がかかり、エネルギー資源や食料品などの物価上昇が収まらない状況となりました。

世界経済の一刻も早い安定を心からお祈り申し上げます。

さて、漁業関係を振り返りますと、クロマグロを主要漁獲とする漁業者の経営を脅かす大変厳しいTAC管理や排他的経済水域（EEZ）ライン付近での外国船による無秩序な操業によるスルメイカなどの漁業資源の大幅な減少と地球温暖化の影響による海洋熱波の発生等を要因とする、主要魚種を中心とした水産資源の記録的不漁により、漁家・漁協の経営は今ま

で以上に厳しさの増した一年となりました。

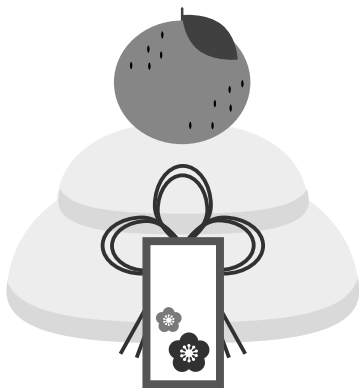
このような中、水産基本計画の基、「海洋環境の変化も踏まえた水産資源管理の着実な実施」、「増大するリスクも踏まえた水産業の成長産業化の実現」、「地域を支える漁村の活性化の推進」を軸に社会・経済の変化など水産業をめぐる状況を考慮し、持続性のある水産業の成長産業化と漁村の活性化の実現に向けた施策が展開されております。

また、二〇二五年度を初年度とするJFグループ次期運動方針が昨年十二月四日（水）に開催された「JF全国代表者集会」にて最終決定されたことを受け本県においてもこれらを基に新アクションプラン策定を進め、会員の皆様に承認いただき、様々な取組を実践していくこととしております。

以上のことから、本会といいたしましても、浜からのご意見・ご要望を踏まえ、その実践者である漁業者が本当に理解していただけるよう努め、浜の明るい将来を切り拓くものとなるよう推進してまい

りました、様々な補助事業の予算確保を要望するとともに、漁業者が安心して漁業生産できるよう、役職員一丸となり、全力でサポートして参る所存でございますので、会員の皆様におかれましては引き続き格別なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様方にとりまして、よい年でありますようご祈願し、併せて、豊漁と安全操業をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

新潟県農林水産部水産課
課長

河村 智 志



新年明けましておめでとうございます。
います。

皆様には、常日頃より、県の水産施策に対して多大なる御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、元日早々に能登半島地震が発生し、一年が経過した今現在も、影響を受けられている方が数多くいらっしゃいます。

被災された全ての皆様に改めて、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く平穏な日常へ戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、漁業を取り巻く状況は、

海洋環境の変化等による生産量の減少や漁業就業者数の減少、国際情勢を要因とする燃油等の漁業資材の高止まりなど依然として厳しいといえます。

また、人口減少や高齢化が進展している漁村においては、漁村ならではの魅力を活かすことにより、漁村の賑わいを生み出し、漁村の活性化を図っていかねばならないと考えられます。

こうした状況を受け、国では、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業である「海業」により、地域の所得と雇用機会の確保等を目指す取組やその推進のための施策に力を入れることとしており、新年度予算でも関連した事業が重点的に要求されています。

県では、「新潟県水産振興戦略」において、県内の漁業者と関連する事業者が連携し、限りある水産資源の付加価値を高め、県産水産

物の需要を拡大することで、関係者全体の所得を向上させることを目指すべき将来像と位置づけて各種取組を進めています。

これらの実現のための方策の一つとして、「舫いプロジェクト」が県内各地で進められており、現在六つの地区でプロジェクトが始動しているところです。取組は地域によって様々ですが、水産未利用資源を新たな地域の魅力にする取り組み等、国が進める「海業」に繋がる活動も多くみられます。今後も、県内各地において、地域の魅力発掘、そしてそれらを核として、地域の関係者が連携して漁村の活性化が図られる取組に発展していくよう、県としても後押しをしてまいります。

また、ブランド化の取組については、新潟県農林水産物のブランド化推進に関する条例に基づき、県産水産物を牽引するブランド品目として、のどぐろ、南蛮エビ等の高付加価値化に取り組んでおります。昨年七月には、のどぐろの中でも、高規格基準を満たして出荷されるものを、新ブランド「美

宝」として発表しました。マスコミからの反響も大きく、飲食業界からの需要も増加し、一部産地では、単価も向上したと伺っています。

さらに、魚食普及の取組では、テレビで県産水産物の魅力の伝道者としてもおなじみの「せかい鮭」の吉沢氏を講師に迎えた「新潟のすし講座」を新潟魚食普及の会として企画いただいたところ、公募一日目で定員が満員近くになる人気ぶりです。当日も参加者から好評をいただいたところです。

水産課では本年も引き続き、新潟県の水産物の魅力を効果的に発信しながら、安全で美味しい魚が県民に安定的に供給されるよう、また、それを支える漁業者の皆様が将来にわたり安心して漁業を続けられるよう、職員一同、努めてまいります。

最後になりますが、皆様にはこれまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

全国漁業協同組合連合会
代表理事会長

坂 本 雅 信



あけましておめでとうございます。年頭にあたり、全国の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

振り返りますと、昨年も多くは自然災害に見舞われた一年でした。その中でも、一月に発災した令和六年能登半島地震は記憶に新しく、漁業者の大切な生活基盤である漁港がこれまで経験したことのない地盤の隆起により、甚大な被害を受けました。本地震の被害に対し、皆さまには募金や物資の支援などについて多大なご協力を戴いたところですが、被災地では今も漁業関係者のみならず地域住

民が一丸となって復興に向けて尽力しており、本会では引き続き皆さまのご協力を得ながら、一日も早い復興に向け、支援して参る所存です。

このほか、私たちの生業の場である海の環境は、変化の一途をたどっており、海水温の上昇などの影響を受け、前浜における漁獲魚種の変化や漁業生産量の減少が顕著となっています。海洋環境は今、「激変の時代に突入した」と言え、JFグループは、この海洋環境の激変に立ち向うべく、自らの役割、使命が大きく問われています。

そのため、我々は昨年十二月に全国から約一、〇〇〇人のJF代表者が参集した「JF全国代表者集会」を開催し、「漁業者を支える事業・経営改革の断行」、「組織基盤の確立」、「浜での中核的役割發揮による漁村・漁業への貢献」の

三つの取り組みを柱に据えた今後五か年の新たな運動方針をJFグループ総意の下、採択し、総力を挙げて、JFの自己改革を断行することを決議しました。

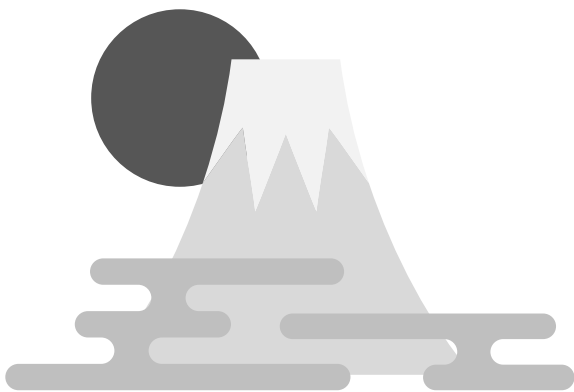
私自身、日本の漁業にはポテンシャルがあると確信しており、これからの五年間は、まさにそのポテンシャルを引き出す時だと考えております。JFグループは、新たな運動方針の下、海洋環境の激変や資材価格の高騰、ALPS処理水の海洋放出に伴う海外における水産物の輸入規制など、山積した課題や困難を克服し、漁業者の所得向上を図るとともに、持続可能な漁業経営と水産食料の安全保障をはじめとした漁業者・国民の負託に応えるべく、組織の総力をあげて取り組んで参ります。

そして、我々は日本の海や漁村の地域資源の価値や魅力をさらに活用・発信して、地域の賑わいや所得と雇用を生み出すことが期待される「海業」の振興などとともに、「浜の活力再生プラン」を推進して参ります。併せて、プライドフィッシュプロジェクトなどを

通じて、国産水産物の消費拡大の一翼を担っていく所存です。

JFグループ関係者の皆さまにおかれましても、これまで以上に英知と総力を結集していただき、本会の活動に対して、引き続きのご協力・ご賛同を頂きたいとお願い申し上げます。

最後となりますが、漁業の豊かな将来を念じつつ、全国各地で活躍の皆さまの操業の安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



令和7年度

県水産予算に

対する要望事項

新潟県水産系統団体

昨年十二月十一日市内ホテルにて新潟県水産振興議員連盟総会が開催され、県漁連寺尾会長より次の通り予算要望が行われました。

県内の多くの漁業地域において、漁業者や漁協等による経営改善の取組が行われているが、高齢化による就業者数の減少や担い手不足、国際情勢に伴う燃油等の価格高騰に加え、ALPS処理水放出による隣国等への禁輸など、漁業者や漁協を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあります。

われわれ系統団体としても、漁業所得の向上や地域の活性化を目指す「浜の活力再生プラン」、「浜の活力再生広域プラン」、「新潟県水産振興戦略」及び「新潟県内水面水産振興計画」に位置付けられた各地での取組を支援し、総力を挙げて漁業者とともに地域漁業の

発展に努力してまいりたいと考えておりますが、県におかれましても、以下の施策についての推進をお願いします。

1 水産物の付加価値向上対策の推進について

県産水産物の付加価値を高め、漁業者の収益性を向上させるため、生産、流通、加工、小売、飲食、観光等の異業種事業者間の連携を深めて行う、新潟県水産振興戦略の取組を推進するとともに、各地域の取組に対して支援を講じてください。

併せて、トップブランドのPRによる県産水産物全体のイメージアップに取り組み他、漁獲物の付加価値向上や低未利用で価格が低い魚介類の新しい加工品の開発など魚価の向上を図る事業を推進してください。

2 漁業担い手の確保育成について

本県漁業就業者の高齢化と後継者不足などにより、今後、就業者及び経営体の大幅な減少が予想さ

れることから、新規就業希望者の就業を促進するとともに、意欲ある若者が漁業で独立自営するための支援等を講じてください。

併せて、次世代を担う漁業者が漁船の取得や設備投資を行う際に利用することが多い漁業近代化資金について、引き続き、予算枠を十分に確保してください。

3 漁協の組織及び経営基盤の強化について

漁協が今後とも漁業者の生産活動を支え、販売事業の強化などにより、漁業経営の改善や地域の活性化等に貢献できるよう、漁協の経営及び市場機能をはじめとした組織基盤の強化のための支援を講じてください。

4 水産資源の持続的利用の推進について

水産資源の持続的利用と生産の拡大を図るため、沿岸環境の保全や藻場の回復に努めるとともに、漁業者等が簡易に取り組める増養殖技術の開発や資源管理を推進してください。また、気候変動に伴

う来遊魚種の変化やそれに伴う新たな対応に関する調査・研究及び情報提供を推進してください。

5 水産基盤整備の推進について

① 沿岸漁場整備の推進について

豊かな沿岸域環境を創出し漁業生産の安定と漁場環境の保全を図るため、藻場の造成や魚礁の設置など沿岸漁場の整備開発を積極的

② 力強い産地づくりのための漁港の整備促進について

省力化・軽労化など就労環境が改善し、生産性向上が図られるよう漁港整備に関する予算を確保するとともに、既存の漁港施設の長寿命化にも、引き続き取り組んでください。

③ 漁港の防災対策について

これまで行ってきた冬季風浪や高潮への対策に加え、東日本震災を踏まえた地震・津波対策など、防災力向上のための施設整備を推進してください。

④ 漁港海岸の整備について

近海で低気圧が異常に発達する機会が増えていることから、漁港周辺の更なる安全確保を図るため、漁港海岸の保全施設整備を推進してください。

6 内水面漁業の活性化と生態系の保全について

① 内水面資源の維持増大について

アユをはじめとする内水面資源の維持増大を図るため、漁場環境に見合った増殖技術の開発・普及など、さらなる支援体制の整備に努めてください。

また、アユやサケ・マス等の資源を確保するため放流事業に対する支援を継続してください。

さらに、カワウによる魚類の捕食被害防除対策、オオクチバス等外来魚の駆除への支援を強化して生態系の保全対策を講じてください。

② 内水面養殖振興について

安定供給、品質向上のための取組を継続してください。

受賞おめでとうございます

祝 漁協運動功労者表彰

上越市漁業協同組合

代表理事組合長

仲田 紀夫 様

JF全漁連が主催する「漁協系統功労者表彰」表彰式が去る十一月二十日（水）に東京都千代田区【如水会館】において執り行われました。

この賞は、漁協系統運動や漁業・漁協事業に貢献された方に対して贈られるものであり、本県からは漁協運動功労者として、JF上越市代表理事組合長・仲田紀夫様が長年の功労を認められ受賞されました。

仲田様におかれては、JF上越市代表理事組合長就任後同市のJF名立が組合員の減少から法定解散間近であることを懸念し、自らが両JF合併協議会会長を務め、事業効率化と販売力強化を柱に新生【JF上越市】の誕生に大きく

貢献されました。

また、県漁連・代表監事に就任後は内部統制並びに内部牽制は基より、収益構造の改善提案等の指導に注力し本会の事業運営の健全化にも寄与したことが認められ、この度の受賞となりました。

大変おめでとうございます。



※漁協運動功労者表彰受賞後の様子

経歴

・平成二十五年三月より

JF上越市

代表理事組合長就任

・平成二十八年六月より

県漁連 代表監事就任

系統団体職員紹介

全国漁業信用基金協会
新潟支所



あなこ 高橋

はじめまして。十月に全国漁業信用基金協会新潟支所に入会しました高橋です。

漁業という業種や保証業務というこれまでとは全く異なる業務内容でわからない用語が多く、戸惑いの連続ですが、サポートして頂きながら一つ一つ習得しているところです。

今はまだ仕事を覚えるのに必死という段階ですが、一日でも早くひとり立ちできるように頑張りたいと思っています。

何かとご迷惑をおかけする事もあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。

「JF全国代表者集会 開催」

去る令和六年十二月四日（水）東京都千代田区「砂防会館」にてJF全国代表者集会が開催され、総勢約千人が参加（本県からは水産系統団体等十一名が参加）し、二〇二五年～二〇二九年JF運動方針が採択され、全会一致にて特別決議されました。

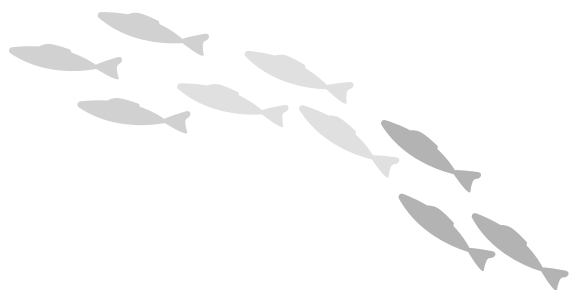
当日の来賓挨拶では公務のため欠席されましたが、石破総理からのビデオメッセージが届けられ、前水産総合調査会長として、水産業発展のため、最大限努力していくとのこと挨拶をいただきました。

また、前段では「自民党水産政策推進議員協議会総会」が開催（本会・寺尾会長出席）され、令和七年度水産予算及び令和六年度補正予算について協議され、後日県内国会議員に対し、陳情を行いました。



※JF全漁連坂本会長挨拶の様子

次ページに二〇二五年～二〇二九年JF運動方針の骨子を掲載しております。



佐渡ヶ島の海が育てた究極の味わい

海底20mで半年間熟成

佐渡ヶ島海底熟成酒

佐渡ヶ島海底熟成酒は、ほのかに海の香りが漂い、まろやかで角のとれた味わいです。熟成させることで匂いや色が変わり、深い味わいを楽しむことができます。

- 購入はこちらから
- 佐渡潜水公式オンラインショップ
- <https://sadosensui.buishop.jp>



日本酒

白ワイン

赤ワイン



佐渡潜水株式会社

新潟県佐渡市加茂歌代331 TEL:0259-58-7228 URL: <https://sadosensui.co.jp>

2025年～2029年 JF運動方針の骨子（3つの柱）

【第1の柱】漁業者を支える事業・経営改革の断行

① 販売事業の抜本的強化【最重点事項】

- ・利用の結集と事業の統合・提携・連携による価格形成力の向上
- ・産地市場・施設の統廃合
- ・水産物のさらなる高付加価値化や未利用・低利用魚の活用による漁業者所得の向上

② 総合事業体としての各種事業の展開

- ・事業共通：国産水産物の重要性訴求及び消費拡大にかかる国民運動
- ・購買事業：取扱量向上プランの展開を通じた利用の結集と、地域と漁業の共生等、新たな領域への挑戦
- ・指導事業：漁業経営基盤強化の支援、海洋環境の激変等に対応した営漁指導の実施
- ・信用事業：漁業金融機能の発揮
- ・共済事業：組合員・地域住民への保障提供
- ・ぎょさい事業：漁業経営の安定に資する「ぎょさい」の加入推進
- ・漁船保険事業：漁業経営の安定に資するための各種事業推進

③ 経営基盤の強化

- ・各事業の強化、合理化・効率化、各事業間の連携強化
- ・要改善JF対策、JF合併等組織再編
- ・固定資産の老朽化や過大な保持への対策

【第2の柱】組織基盤の確立

① 協同組織理念の確認

- ・協同組合理念の認知・再徹底に必要な組合員・役職員に対する啓発活動の実施

② 新規就業者や漁業後継者、JF人材の確保・育成

- ・新規就業者や漁業後継者の確保・育成
- ・浜とJFを牽引する役職員の確保・育成に向けた採用活動（協同組織の特長の訴求）・育成策の強化、待遇改善
- ・女性参画の推進
- ・青壮年活動の支援による将来の浜のリーダー育成
- ・有識者、異業種等の多様な人材が活躍・協働する組織づくり

③ 中核JFの組成・育成

- ・事業機能提供、漁村地域貢献、健全経営等により中核的漁業者を支える態勢にある「中核JF」の組成・育成

④ コンプライアンス態勢等内部統制の強化

- ・不祥事の未然防止対策や独占禁止法を含む各種法令の遵守徹底

⑤ 新たな収益源の確保

- ・浜の実態とニーズに応じてスマート水産業や海業の分野における資材の取扱推進を図ること等による組合員の漁業所得の向上や生活の安定への貢献

【第3の柱】浜での中核的役割発揮による漁村・漁業への貢献

① 組合員、JFによる様々な役割発揮

- ・水産物の安定供給による食料安全保障
- ・資源管理と海洋環境保全による資源と環境の回復
- ・森・川・海の連携を含めた「豊かな海づくり」の推進
- ・国境監視・海難救助をはじめとする多面的機能の発揮
- ・スマート水産業の推進による資源評価・管理の高度化と省人化・省力化等生産性の向上及び漁業者の安全確保への貢献

② 浜プラン・広域浜プランの実践

- ・漁業所得の向上と漁村地域の活性化
- ・浜の機能再編と中核的担い手の育成

③ 異業種や農林業・商工業との連携

- ・異業種や農林業・商工業者が有する技術・ノウハウの活用、協働

漁場環境の保全と豊かな漁村づくりを推進しよう

系統団体掲示板

漁協監事研修会

去る、九月十日に新潟県水産会館において漁協の監事を対象に漁協監事、漁協職員計二十二名が参加のもと、漁協監事研修会を開催しました。

研修会では、最初に『漁協監査に求められること』水産業協同組合法に基づく検査での指摘事例から』と題し、県水産課農林水産部水産課団体・企画係の大西副参事より講演がありました。

講演の中で監査と検査における監事の役割、コンプライアンスの基本方針・行動規範、監事の職務や近年の検査での指摘事項について例を挙げていただき、最後に行政からの監事に対する着眼点の説明がありました。

続いて、『漁協って何だろう？

漁協監事の役割は？』をテーマに昨年度から引き続き、(公財)海洋生物環境研究所の加悦幸二事務局長より講演がありました。

冒頭、水協法の主な規定や漁協監事の仕事と役割といった監事として求められることの説明があり、その後、監事の皆さんにやってほしいこととして、「今、困っていること」、「何をすればいい?」、「こうしたらどうか?」、「まず、漁協や理事、監事が変わろう」、「監事は役員の一人であり漁協の経営を把握してそれを経営に活かす役割を担おう」と講演がありました。

参加された監事は熱心に受講されました。



※漁協監事研修会の様子

製品ラインナップ

- ・130F51
- ・155G51
- ・210H52



NO! 不法投棄

不法投棄は犯罪です。
バッテリーのリサイクルにご協力ください。



船舶対応ハイブリッドバッテリー



4大特徴

- 容量UPで長寿命化を実現
- 防爆栓の採用により、安全性に配慮
- 船舶専用付属端子付き
- 船舶対応取扱い説明書を添付

好評販売中!!

JF 全国漁業協同組合連合会



JFグループは環境の保全を推進しています!!



製造元 FB 古河電池株式会社
販売元 JF 全国漁業協同組合連合会

〒240-0006 神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川2-4-1
〒101-8503 東京都千代田区内神田1-1-12

FB FURUKAWA BATTERY

漁協役員研修会

令和六年度新潟県漁協役員研修会が十月八日（火）に新潟県水産会館で開催され、漁協役員及び系統団体役員約六十名が出席し、JFグループ役職員の資質向上と漁協組織の健全な運営を図ることを目的として研修会を開催いたしました。

最初に新潟海上保安部交通課の大滝専門官より「漁船の海難発生状況について」と題し、隣県や県



※講演いただいた講師の皆様

内の漁船海難の発生件数、事故の種類別や要因について説明があり、これらの漁船事故が発生しないための注意事項として、「常時適切な見張り」、「気象、海象の把握」、「ライフジャケットの着用」について講演がありました。

続いて、農林中央金庫富山支店JFマリンバンク北陸担当の松浦部長より、「JF役職員のコンプライアンスについて」と題して、昨今はメール等でのサイバー攻撃が増加しており特定の組織や個人を狙って情報を搾取するといった手口が巧妙になっていくことから、身に覚えのないメールは絶対に開封しないなど対処できるよう知識を身に付け情報セキュリティ管理を徹底することが大切であると講演がありました。

また、コンプライアンスを遵守する上で、「心理的安全性」が確保されていることが職場環境の良し悪しを左右するため、改めてコンプライアンスというものを意識していただきたいと講演がありました。

最後の講演として、全漁連の石

川常務理事より「海洋環境の激変への対応とJFグループの取り組みについて」と題し、漁期や魚種、水温等の全国での浜の声とJFグループの対応として豊かな海を実現するため、令和七年の水産予算及び令和六年度の補正予算にかかる重要点について説明があり、その中で魚や海藻を生育・増殖させる場を整備する「JFシェルナース」や「貝藻くん」を活用した展開についての講演後、杉田参事より「漁協役員の心構えと危機管理」についてと題し、大規模災害時における漁業地域事業継続計画（BCP）について危機管理面での事例を基に講演がありました。

参加された漁協役員の皆様には、本研修を有意義に活用し、浜にもどり、漁協の役員としての活躍を祈念しております。



TOHATSU

船 外 機 4 ストローク
トーハツ和船



(株) マ リ ン 商 事
〒951-8011 タネムラマリーナ
新潟市中央区入船町4-3776-22
TEL 025-228-2745

「第六十七回新潟県
青壮年・女性漁業者
交流大会」を開催

十月二十二日（火）、新潟県自治会館において、第六十七回新潟県青壮年・女性漁業者交流大会が開催され、漁業関係者や団体など九十三名が参加しました。

大会では、冒頭、将来を漁業に託そうと若い情熱をもって漁業に従事している漁業者を激励するこ



※漁業後継者表彰の様子

とを目的に漁業後継者表彰が行われ、二名が表彰されました。続いて漁業士認定証授与が行われ、青年漁業士一名、指導漁業士五名が漁業士認定を受けられました。

若手漁業者の発表では、新潟漁協山北支所所属の本間恒大さんが「父の背中を追いかける」と題し、漁業者である父の姿を見て、苦勞が続きながらも誠実さを心がけ、父のような立派な漁業者になりたいと意気込みを述べられ、海洋高校生の発表では、新潟県立海洋高等学校水産資源科資源育成コースの中村結愛さんが「雨垂れ石を穿て（あまだれいしをうがて）」と題し、水産養殖と水耕栽培を両立させる「アクアポニックス」に興味を持ち、失敗の連続の中、諦めず試行錯誤を繰り返し成功をつかんだと発表がありました。

実績発表として、粟島浦漁業集落の川原燎さんが、「粟島の藻場回復の取組について」、新潟漁協五十嵐浜支所の星野健一郎さんが「ヌタウナギ漁の復活」、新潟魚食普及の会（佐渡地区）の森川あゆ子さん、佐藤和代さんが、「佐渡

における魚食普及活動」お魚料理教室を通して」と題し、三組から発表があり、新潟魚食普及の会の発表が優秀賞を受賞し、来年三月に開催の全国青年・女性漁業者交流大会へ出場することとなりました。

基調講演として、アドホック株式会社の齊藤孝子さんが、「新潟の魚への想いだけで足掻いてきた素人の三年」と題し、ホームページなどで、情報発信を行い、新潟の魚を広めていきたいと述べました。今大会での漁業者間の交流・情



※新潟魚食普及の会発表の様子

報交換をきっかけに、各地域での漁業・漁村の振興に向けた取組がさらに促進されることを期待しています。

交流大会 表彰・認定者一覧

◇漁業後継者表彰

新潟漁協

船木 賢志朗さん

寺泊漁協

鈴木 賛士朗さん

◇青年漁業士認定

内海府漁協

山口 大喜さん

◇指導漁業士認定

上越漁協能生支所

山田 吉弘さん

上越漁協筒石支所

久保田 秀長さん

姫津漁協

石見 健一さん

佐渡漁協赤泊支所

寺尾 拓弥さん

後藤 孝浩さん

二〇二四年 佐渡さかなまつり

令和六年十一月十日（日）に佐渡水産物地方卸売市場で佐渡地区漁協連絡協議会の主催により第二十九回『佐渡さかなまつり』が開催されました。

当日は好天に恵まれ、また、佐渡島金山が世界文化遺産登録されたこともあり島内外から約五千人という大勢の来場がありました。

島内の漁業者、婦人部、各種団

体などが多く出店し、佐渡産の新鮮な魚介類や加工品の販売をはじめ、篠笛演奏者のステージショーや素人セリなどのイベントやマグロの即売が行われ大盛況で終了しました。

今後も島内の一大イベントの一つとして、佐渡の水産物のPR活動や消費拡大のため漁業者・漁協・各関係機関が協力し継続していくことで、島内外に佐渡ブランドを発信することと共に安心・安全な鮮魚介類を提供していきたいと思っています。



※マンボウの展示に子供達が大喜び



※漁業者が取れたての鮮魚販売する様子

「第三十四回 新潟県協同組合間 提携研究集会」

七月九日（火）、新潟ユニゾンプラザの多目的ホールにおいて第三十四回新潟県協同組合間提携研究集会が開催されました。

主催は新潟県協同組合間提携推進協議会（提携協）で構成団体は新潟県農業協同組合中央会、新潟県生活協同組合連合会、新潟県森林組合連合会、新潟県酪農業協同組合連合会、新潟県信用農業協同組合連合会、全国農業協同組合連



※発表中の様子

寺泊漁協 平松参事 栗田職員

合会新潟県本部、全国共済農業協同組合連合会新潟県本部、新潟漁協、本会の計九団体で構成されており、活動目的としては組合が提携を通じて太い絆で結ばれるよう共通課題の解決にむけて努め、相互の機能を高め、地域経済の発展に寄与することをめざして活動しております。

この提携協での大きな活動の一つとして年に一回、新潟県協同組合間提携研究集会が開催されます。今年度の基調講演として、北海道漁業協同組合連合会環境部の中村次長から「お魚を殖やす植樹運動」と題し講演が行われました。実績発表は本会の当番であった為、担い手対策や付加価値向上の取り組みを実施している、寺泊漁協へ依頼し発表していただきました。

最後にC P C C宣言（協同組合はすべての人によりよい未来を築きます）が宣言され閉会となりました。

これからも同じ協同組合で連携を図り県内の地域発展に努めていきたいと思っています。

「魚の森づくり」活動報告

県内各地で「魚の森づくり」推進協議会」による育植樹活動が行われました。

本活動は、「豊かな森を守り育てることは豊かな海を育てることに繋がる」を目的として活動に参加しております。

上越市では十月五日の土曜日に「桑取川魚の森づくり」が上越市くわどり市民の森において行われ、上越市漁協や桑取川漁協の組合員さんの他に、地元小中学校、



※上越市桑取川魚の森づくり集合写真

森林組合などが参加し、コナラやブナ、オニグルミなどの下草刈りといった保全活動が行われました。

柏崎市の「谷根川さけの森づくり」は、十月十九日の土曜日に谷根地区において活動が行われました。当日は総勢五十六名が参加し、四十八本のケヤキとユキツバキの苗木が植樹されました。

植林した苗木は、成木になるまで何十年もかかることから育植樹活動は末永く続ける必要があります。



※谷根川植樹作業の様子

▲プライドフィッシュUPR 情報について▼

「地元漁師が選んだ本当においしい自慢の魚」をPRするプライドフィッシュ事業がスタートして以来、本年度で十周年を迎えています。

第二十六回ジャパン・インターナショナル・シーフードショーが令和六年八月二十一日(水)〜二十三(金)に東京国際展示場 東京ビックサイト東館にて開催されました。



※会場ブースの様子

全国各地の漁連や漁協などの漁業者団体による、首都圏の消費地で開催される展示商談会へ販路拡大を後押しするため開催されました。

今回は現地参加には至りませんでしたが、全漁連ブースにて本県のプライドフィッシュ登録している「ノドグロ」について提供依頼があり、上越漁協筒石支所所属の八栄丸さんからご協力を得て対応いたしました。

これからもプライドフィッシュ事業にご協力いただきますよう宜しくお願い致します。



※展示されたノドグロ

国際調理製菓専門学校 第四回お魚料理コンテスト

新潟県産の地魚を使用したお魚料理コンテストが十月二十五日（金）に国際調理製菓専門学校で開催されました。

料理人を志す専門学校二年生七十名が和食・洋食・中華・健康給食・カフェコース混合で十八班に分かれ参加しました。



新潟県内でも水揚げの多いソウハチガレイ・シイラ・ワラサ（ブリ）の3魚種を使用し、新潟県産地魚の良さをより一層引き出した素晴らしい料理が出来上がりました。審査委員は、ホテルイタリア軒

の関本料理長をはじめ、コープデりにいがた小林理事、本会寺尾会長、専門学校の指導員などが務めました。最優秀賞に選ばれた『ワラサカツイチジクとトマトソースのソースを添えて』は十一月にホテルイタリア軒で限定提供されました。



また、優秀賞『シイラのパイ包み』、漁連賞『カレイのポワレブルブランソースと旬の彩り野菜を添えて』、イタリア軒賞『シイラのじゃがいも包み焼き』以上三つの上位入賞作品のレシピを本会ホームページにて公開しております。

心に残るやすらぎのひとときと 快適なホテルライフを提供します。

JR新潟駅から徒歩3分。新潟空港より車で20分。
市内のホテルにしては珍しいほどの広大な駐車場。
抜群のロケーションを誇っています。

伝統に裏づけされた確かなサービス。
客室はゆとりのセミダブルベッド、インターネット回線もご
利用いただけます。自慢のレストラン、宴会場を有した
新潟屈指のシティホテルです。
ビジネスにレジャーにお気軽にご利用ください。



東映ホテルチェーン

新潟東映ホテル

〒950-0901 新潟市中央区弁天2丁目1番6号

TEL.025 (244) 7101

<http://www.toei.co.jp/hotel/niigata/>

宴会場 大、中、小 9室

客室 133室（収容人員162人）
全室セミダブルベッド使用

レストラン ステーキハウス 喫茶
結婚式場 写真室 美粧室

駐車場 80台収容

漁船海難遺児育英資金の募金をお願い

(財)漁船海難遺児育英会
新潟協議会

本会育英事業につきましては、平素より温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、標記募金につきましても、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、全国で約十二万人の人たちが、私たちの食生活に欠かせない大切な魚を獲るために働いています。漁業は大自然を相手とする厳しい仕事のため、毎年多くの尊い人命を失う事故が起きています。

一家の大黒柱を失ったあとは、家族に大きな負担がかかってきます。中でも、子供の養育問題は大きな悩みとなっており、依然として教育費は増加傾向にあることから、遺族の家計を圧迫しております。

さらに、近年では大学・専門学校等への進学率も高くなっております。

り、自宅から離れて生活することとなれば、教育費に加えて多額の生活費がかかります。

(公財) 漁船海難遺児育英会では、こうした子供たちが安心して学校に通えるように、育英資金の援助を行っています。

今後、事業の充実を図るべく、引き続き募金のご支援をお願いするものであります。

皆様におかれましても、なにかと物入りの折り、毎年お願いで誠に恐縮に存じますが、何卒ご厚志を賜りますようお願い申し上げます。

(振込先)

東日本信用漁業協同組合連合会

新潟支店 普通預金

口座番号 2590693

口座名 (財)漁船海難遺児新潟協議会

議長 会長 寺尾和弥



CMP CHUGOKU



最高級加水分解型船底塗料

あっぱれ

「あっぱれ」の防汚性能がさらにアップしました。

※ 製品改良に伴い光沢が若干増しており、仕上がり感が従来品と若干異なります。

あっぱれの特長

表層の高濃度の防汚剤イオン層により、優れた防汚効力を発揮します

高活性加水分解ポリマーによって、表面更新性が優秀です

塗膜表面が平滑に研磨され、水中の摩擦抵抗が減少します

色がカラフルです

2kg

4kg

レッドH

ブルーH

黒H

中国塗料株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビルディング
TEL: 03-3506-3971 Website: www.cmp.co.jp

ご用命は最寄りの
漁業協同組合 購買課まで

二〇二四年の大型クラゲ来遊状況について

新潟県水産海洋研究所
漁業課 主任研究員 阿部 峻太

二〇二四年は、日本近海での大型クラゲの来遊が近年に比べ非常に早く観察され、初確認時の個体数が大量であったため、二〇〇九年以来の大量来遊が危惧される年となりました。その後、全国各地で大型クラゲの入網が相次ぎ、漁業被害が発生しましたが、本県では大量来遊には至りませんでした。今回は、二〇二四年の全国及び本県の大規模クラゲ出現状況についてご報告します。

二〇二四年は六月二十四日が初めての情報となりました。初確認日が七月十二日であった前年と比べると、二週間以上早い来遊でした。対馬での大量出現は七月中旬まで続き、新潟県での初確認は七月二十八日でした。大量来遊であった二〇〇九年の八月十一日と比べても非常に早い確認となりました。

その後も大型クラゲの北上は続き、八月二十七日には津軽海峡を抜けた個体が青森県八戸で確認されました。十月下旬には、太平洋側では千葉沖や北海道の斜里町沖での確認が二〇〇九年と同様にありましたが、確認時期に大きな違いはありませんでした。

漁業被害は七月に日本海西部海域の定置網で多かったですが、八月に入ると千個体を超える報告はなくなりました。来遊域の拡大とともに。全国各地から漁業被害が報告されるようになりましたが、二〇〇九年と比較すると被害規模は大きくなく、地域差があるような状況でした。

新潟県の今期の来遊状況を表にまとめました。佐渡沖では七月から九月にかけて大型定置網や板びき網で確認され、八月から九月に下越から上越沖のごち網や小型底

びき網等での入網がありました。確認個体数については、数個体から七十個体であり、漁労作業の増大や漁獲物の鮮度低下といった被害が発生しました。

今期は佐渡市達者の大型定置網を中心に、県内各地から入網の報告がありました。十月以降、県内の来遊情報はなく、全国的にも来遊報告は少なくなっていますが、二〇〇七年以来に来遊した際には、年明け以降も底びき網や定置網に入網が続きました。今後ともご注意ください、入網・目撃情報がありましたら、各普及員を通じて情報提供いただきますようよろしくお願いいたします。

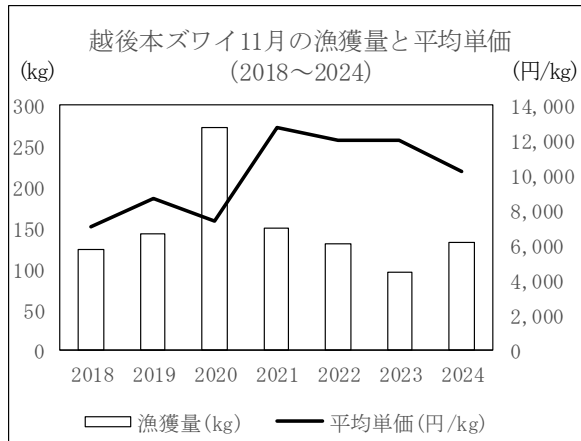
参考

一般社団法人漁業情報サービスセンターHP
https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/files/siryoul.pdf

表 二〇二四年の新潟県における大型クラゲの来遊状況

海域	日時	漁業種類	数量（個数）	サイズ	漁業被害
佐渡市達者沖	7月下旬～9月中旬	大型定置網	2～70個	50～150cm	漁労作業の増大 漁獲物が痛む
佐渡市春日崎沖	9月中旬	板びき網	20個	—	漁労作業の増大
佐渡市岩首沖	9月下旬	刺網	10個	30～70cm	漁労作業の増大
村上市沖	8月下旬～9月上旬	ごち網	2個	不明	—
長岡市沖	8月下旬～9月上旬	ごち網 小型定置網 越路丸調査	1～20個	20～100cm	—
上越市沖	8月下旬～9月上旬	刺網 小型底びき網	1～30個	80～100cm程度	網が破れた
糸魚川市沖	8月下旬	ごち網	1～3個／網	100cm弱	—





新潟越後広域水産業再生委員会で取り組んでいる「越後本ズワイ」は、平成二十九年から始め、今年で八年目となりました。徐々に名前も知られてきたようで、平均単価も最初の頃より上がっております。

左のグラフと表は、平成三十年

新潟県農林水産部水産課

団体・企画係

令和六年度
「越後本ズワイ」について

	2018	2019	2020	2021
漁獲量 (kg)	128.9	145.8	272.5	149.3
金額 (円・税抜)	906,481	1,263,179	2,001,827	1,894,416
平均単価 (円/kg)	7,034	8,663	7,345	12,690

	2022	2023	2024
漁獲量 (kg)	130.1	93.8	128.3
金額 (円・税抜)	1,556,977	1,122,535	1,311,753
平均単価 (円/kg)	11,964	11,967	10,227

(二〇一八年) から令和六年(二〇二四年)までの十一月の漁獲量と平均単価の値を示しています。昨年の十一月の漁獲量を過去五年間の平均と比較してみると、漁獲量は一二八・三kg(過去五年平均比八〇%)で二割程度少なく、平均単価は一〇、二二七円/kg(過去五年平均比一〇三%)とほぼ平均並みでした。継続は力なりと言いますので、引き続き取り組みを続けていただければと思います。

共栄火災



サイ吉

人々が気持ちよく毎日を暮らせるよう、安心のチカラでそっと支えるサイ。共栄火災のサイ吉です。



夢を、未来を、 ずっと近くで支えたい。

隣にいる誰かと、家で待つ誰かと、未来で出会う誰かと。

人はみんな、あらゆるつながりの中で暮らしています。

そのつながりが、もっと身近なものになれば、

人生はずっと豊かなものになる。

共栄火災は、確かな安心のチカラで、

そんなあなたの毎日を応援します。

それが、地域を支え、暮らしに役立つ保険会社としての、

私たちの使命だから。

つながり強化宣言! **共栄火災**

まるまるそろった安心と、わかりやすさを。
めざしたのは、つつみこむような自動車保険です。

総合自動車保険 KAP **くるまる**

JF共水連(全国共済水産業協同組合連合会)との連携強化: 損害保険分野において、優れた補償の提供とサービスの向上を図るために、JF共水連との連携強化を継続してまいります。

共栄火災海上保険株式会社 【中央支店新潟支社】 〒951-8116 新潟市中央区東中通 1 番町 86-16 TEL. (025) 229-0512 www.kyoeikasai.co.jp

水 揚 情 報

令和 5 年 11 月末現在

単位：(kg, %)

区分	水揚市場	水揚げ合計	新潟	岩船	山北	寺泊	出雲崎	上越	佐渡
R5.6月～R5.11月 累計		3,610,629	1,171,892	304,002	382,965	110,274	90,224	421,816	1,129,456
R4.6月～R4.11月 累計		5,009,803	1,620,040	513,013	526,974	121,613	112,926	593,069	1,522,168
増減 (kg)		-1,399,174	-448,148	-209,011	-144,009	-11,339	-22,702	-171,253	-392,712
前年対比 (%)		72%	72%	59%	73%	91%	80%	71%	74%

地区別魚種ランキング 6 月～11 月

前年対比：増加↑ 横ばい➡ 減少↓

新 潟

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	べにすわい	362,040	↑
2	あじ	103,212	↓
3	たい	50,449	➡
4	さば	43,874	↑
5	つば	34,441	↑

寺 泊

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まあじ	30,096	↓
2	まだい	15,273	↑
3	するめいか	8,683	↓
4	こだい	7,280	➡
5	まさば	6,781	➡

岩 船

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	するめいか	75,020	↓
2	いなだ	29,898	↑
3	あじ	15,255	↑
4	あまだい	14,940	↑
5	さごし	14,160	↑

出雲崎

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだい	25,433	↑
2	するめいか	12,750	↓
3	さざえ	9,390	↓
4	もずく	6,606	↑
5	かれい	4,741	↓

山 北

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	かき	66,381	↑
2	あじ	32,405	↑
3	たい	27,889	↓
4	すわいがに	24,042	↓
5	あまだい	22,596	↓

上 越

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	にぎす	64,895	↓
2	まだい	52,577	↓
3	するめいか	37,551	↓
4	まあじ	25,892	↑
5	かわはぎ	17,622	↓

佐 渡

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	ぶり	410,878	↑
2	あじ	364,619	↓
3	いわし類	287,641	↑
4	さざえ	257,904	↑
5	さば	241,627	↓

漁船情報

漁船リース事業 事業承継者募集について

○下記漁船で事業承継していただける漁業者さんを募集しています。
漁船購入を検討している漁業者さんや独立を検討している漁業者さん
下記の漁船で操業を考えてみませんか。



※国の補助事業、漁船リース事業を活用しておりますので別途条件がございます。
詳細についてはお問合せ下さい。

漁船の要目

船名	第八豊栄丸（令和4年6月末まで稼働実績）
漁船登録番号	NG2-2093（板びき網漁業、こぎ刺網漁業）
船質	軽合金
総トン数	6.2トン
主要寸法	12.18m×2.88m×1.20m
造船所	東和造船株式会社（新潟県新潟市）
進水年月	昭和61年6月（船齢37年）
機関製造者	三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)
推進機関	ディーゼル355kw S6M4-T2MTKL（機齢3年6ヵ月）
主要設備	オートパイロット、レーダー、GPS、魚探、無線、AIS
問い合わせ先	（一社）新潟県漁業リース協会 TEL 025-243-3681（県漁連内）

普及指導員現地情報

令和六年度下期

○糸魚川駐在

～漁業士が講師となり地魚料理教室を開催～

九月七日に糸魚川地区公民館で、漁業士が講師を務める地魚料理教室（ふるさとマナビイ教室）が開催されました。これは市内在住の小中学生に地産の魚料理を実習することで、海の大切さを理解し、慣れ親しんでもらうことを目的に糸魚川市が主催して行ったものです。

当日は六名の講師が、十三名の小中学生等にのどぐろの生態や魚の三枚おろし、焼き魚の作り方を教えました。参加した子供たちは慣れない料理に苦労しながらも、漁業士のサポートを受け、のどぐろの刺身とスルメイカの焼き物を作り、試食しました。

近年、魚離れが進んでいると言われていますが、このような経験

により子供たちに魚の美味しさを再認識してもらうとともに、地域の水産業に興味を持ってもらえれば良いと感じました。



※漁業士によるのどぐろの説明

○新潟駐在

～「新潟のすし講座」が開催～

十二月九日にくくとびあ食花において、新潟魚食普及の会が主催する「新潟のすし講座」が開催されました。

この講座は、地魚をより多くの人に普及するため、新潟魚食普及の会の新たな業界間連携の取組として初めて実施しました。講師には、せかい鮨店主の吉沢氏を招き、美味しいご飯の炊き方をはじめ、ネタの切り方やシャリの握り方、玉子焼の作り方について実演を交えた説明がありました。参加者は、すしの握り方と玉子焼に挑戦し、始めに、おからを用いて握りの練習をした後に、実際に酢飯を使いましたが、教えられたとおりにシャリを握ることが難しく、皆さん四苦八苦していました。終了後に行ったアンケートで



※おからを使って握りの練習をする様子

は、「すしを握ることが出来、良い経験になった」や、「大変貴重な機会となり、家でも試してみたい」といった意見があり、地魚や水産物を使った料理に興味を持っていただく良い機会になったのではないかと思います。

○村上駐在

～三面川のサケ伝統漁法「居繰網漁」を視察～

十月三十日、青森県から山口県までの水産業普及指導員が参加した日本海ブロック普及員研修会の現地視察で、村上市の三面川鮭産漁協の鮭増殖事業を視察しました。

当日は、ウライ漁のほかに、運良く伝統漁法の居繰網漁（いぐりあみりょう）の様子も見ることができました。※居繰網漁は三面川だけに残る、江戸時代から伝わる伝統漁法です。「小回し舟」という川舟で三面川の流れに乗り、網を操りながら八の字で川を下っていきます。川を上ってくる鮭が網にかかる、双方の漁師が呼吸を



※居操網漁の様子

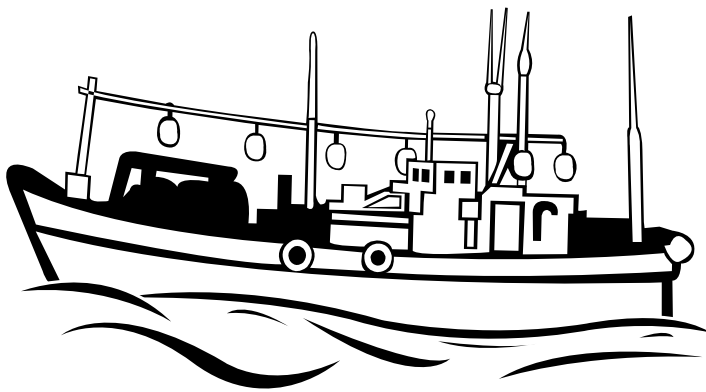
合わせて網を上げて鮭を捕ります（村上市観光協会HPより）。
川の中の鮭が逃げないように、小回し舟にはエンジンがついていません。組合長のお話しでは、動力のない二隻の舟で息合わせながら鮭を採るためには、熟練の技が求められるそうです。江戸時代から変わらず受け継がれてきた技術に、三面川の鮭漁を営む人々の歴史を感じました。



※体験学習の様子

流されます。鮭の資源が増殖関係者の努力で維持されていることを改めて実感した研修でした。

○佐渡駐在
「水津ふれあい体験学習が行われました！」
十月十一日に佐渡市水津にて、前浜小中学校の児童・生徒を対象に「水津ふれあい体験学習」が行われました。これは、水津漁業研究会の主催で、水産業に対する関心や理解を深めるとともに郷土への愛着をもってもらうことを目的として毎年実施されるものです。



当日は、十九名の児童、生徒が、釣り体験、乗船体験、スルメイカやイナダを用いた魚さばき体験などを行いました。

この教室は長年続いており、今回で三十二回を迎えます。この取り組みが継続し、地域の担い手の育成や水産物の消費拡大につながることを期待しています。

ギョレンオイル
大漁
シリーズ



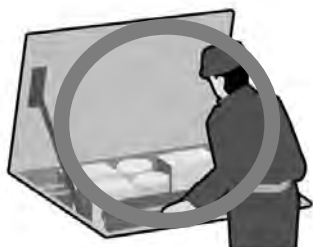
お 知 ら せ



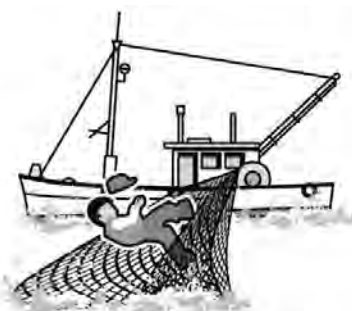
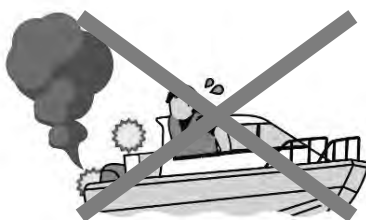
新潟海上保安部

①冬季における漁船の海難傾向

新潟県内では、例年、晩秋から春先(11月～翌3月)にかけて、漁船の転覆や浸水、機関故障が発生する傾向があります(2019年～2023年で計24件、年平均約5件の漁船海難が発生しています)。引き続き「常時見張りの徹底」「気象確認・発航前点検」「救命胴衣の着用」をお願いします。



発航前点検により予期せぬ事故を防止



万が一の備え
連絡体制の確保

②積雪による係留船の浸水、転覆対策

気象庁によると、新潟県の降雪量は「平年並みか多い」と発表されております。浸水・転覆事故防止のため、早めの陸揚げやシートで覆うなどの対策を実施願います。

また、除雪作業の際は救命胴衣を着用し、複数名での作業を心がけ願います。



③最新の気象情報の入手(海の安全情報)

冬季の低気圧接近などの最新情報はこちらからも入手いただけます。

スマートフォン用
サイト



緊急情報
配信サービス



メール配信
簡単に登録
できます！

【お問い合わせ先】新潟海上保安部 交通課 TEL 025-244-1008

税関から漁業関係者の皆様へのお願い

税関では、国民の皆さんの生活を脅かす不正薬物や銃器などの密輸を撲滅するために日々取締を行っております。

国を跨いだ人やモノの流れがコロナ禍以前に戻り活発化している中で、令和六年上半期での不正薬物の摘発件数は五百件、押収量は約一千三百一キロとなり、前年に引き続き不正薬物の密輸入が深刻な問題となっています。

日本国内で摘発される不正薬物や拳銃のほとんどが海外からの密輸品です。過去には沖合で積み替えられ、海岸や漁港で陸揚げされる事例もありました。税関では、更なる水際での取締強化を進めているところです。

しかし、新潟県の長い海岸線に対する取締りには、漁業関係者の皆様の協力が不可欠です。

身の回りで何か不審なことを発見したときは、新潟税関支署（〇二五―二四四―九三一四）又は密輸ダイヤルまでご一報下さい。

コカイン
約178kg

末端価格44億5千万円相当

外国船から海上投棄されたコカインを小型船舶で回収し、館山漁港に引き上げ密輸入
(令和6年5月 計8名を逮捕)




実際に使用された小型船舶

過去にも南伊豆町の海岸において、小型船舶による洋上取引で覚醒剤約1トンの摘発がありました(令和元年6月)
洋上での密輸取引は大口で、一旦密輸されると被害が甚大です。




不審な漂流物、普段見かけない船舶、不審な人物、行動など、怪しいと感じたら通報をお願いします

密輸ダイヤル(24時間受付)

0120-461-961

シロイ クロイ



密輸に関する情報提供



あなたはまだ、魚の 本当の旨さを知らない。



漁師が選んだ、
本当においしい魚

PRIDE FISH

10TH ANNIV.
SINCE 2014





漁師が選んだ、本当においしい魚

PRIDE FISH

魚の本当のおいしさを、感動を、たくさんの人に届けたい。「プライドフィッシュ」を選定し始めて10年、この思いは今も変わりません。これからも地域や季節ごとに漁師が選んだ本当においしい魚を味わってもらい、日本の魚の底力と感動を伝えていきます。



全国のプライドフィッシュを随時公開中!
販売店やおいしい魚レシピも日々更新しています。

<https://www.pride-fish.jp>



JF JFグループ
全国漁業協同組合連合会

